

議会だより



コロナ対応・補正予算	2
一般質問(過疎対策、農業、図書館整備などを質す)	5
新しい町づくりへ 私の提案	15
あの時のあの質問どうなった	16

順調に進む高齢者への
コロナワクチン接種
関連記事2・3・20p

発行/長野県飯網町議会 編集/議会報編集調査特別委員会 発行責任者/大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和3年6月30日現在 人口10,733人(98.3%) / 男5,272人(98.3%)・女5,461人(98.3%)
世帯4,210(100.0%) ※うち外国人世帯28(93.3%) ()内は前年比率

町民の生活を守るため 一般会計補正予算2億673万円を可決

新型コロナウイルス感染症対応に 1億9142万円

6月議会は引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行う中、1日から17日までの17日間の日程で開かれました。提出された議案は、条例案件2件、補正予算4件、報告6件、その他1件の計13件を可決、承認し、陳情1件を不採択としました。

飯綱町総合計画条例

—可決—

「飯綱町総合計画」「飯綱町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合し、新しい条例を制定。飯綱町総合計画審議会条例を廃止するもの。

委員20人中女性11人

令和3年度一般会計補正予算(第1号)の承認について

—承認—

既定予算に7830万円を追加し、総額を82億5830万円とするもの。

新型コロナウイルス感染症防止のためのワクチン接種、対象者の抽出と予約券発送、予約センターの設置費用。

ワクチン接種に係る医療材料の事前準備と必要な体

制を構築する費用。

令和3年度一般会計補正予算(第2号)の承認について

—承認—

既定予算に660万円を追加し、総額を82億6490万円とするもの。

県が飯綱町を含む長野圏域に、新型コロナウイルス特別警報Ⅱ「感染警戒レベル5」を発出したことに伴い営業時間の短縮等に取り組んだ飲食事業者等に、県と共同で支援金を給付する費用。公共交通の一翼を担うタクシー事業者に対し、感染症対策に係る経費を支援する費用。

令和3年度一般会計補正予算(第3号) —可決—

既定予算に1億2183万円を追加し、総額を83億

8673万円とするもの。

主な歳出

・新型コロナウイルス感染症対応 1億652万円

(表P3)



▲接種前に説明を受ける対象者

町長の給料を

3か月減額

特別職で常勤の者の給料月額額の減額に関する条例

—可決—

- ・生活困窮者就労準備事業 150万円
- ・低所得子育て世帯支援特別給付金 866万円
- ・住宅リフォーム事業 500万円

陳情

5月31日付け職員の懲戒処分に伴い、町長の給料を7月1日から9月30日までの間30%減額するもの。

接種後死亡15000人超えニユルンベルク綱領違反新型コロナウイルス人口削減ワクチン、ワクチンパスポート、プランデミック、ムーンショット計画に関してインターネット検索し、それらによる被害の防止策を実行するよう求める陳情書 —不採択—

陳情者 原秀史

ワクチンパスポート禁止法、ワクチン接種の中止、PCR検査の中止、ニユルンベルク中止などを求めている。

人事

教育委員の任命 —同意—

飯田治夫氏

新型コロナウイルス感染症対応（一般会計補正予算第3号）の内容

事業概要	金額
● いづなコネクT EAST、WEST、メーラプラザに非接触温度測定付き消毒器の設置 ※ 3施設× 2台	60万円
● 福祉事業者に感染予防対策として経費を支援 ※ 1事業者へ3分の2補助（上限20万円）×福祉施設事業者等21事業所	420万円
● ワクチン接種の体制確保のため、休日・時間外の職員の人件費	391万円
● 医療体制支援(飯綱病院への繰出金) (当初予算から全額振替)	5000万円
● コロナ禍における農産物等販路拡大のための配送システムの導入	200万円
● 飲食店や宿泊施設での感染防止を図るため飛沫・接触感染予防及び換気による感染予防に係る設備導入、備品購入等行う事業者への補助 ※ 1事業者へ3分の2補助（上限20万円）×30事業者	600万円
● 飲食店や宿泊業者へ支援金を給付 (2021年4月又は5月の事業収入が過去2年のどちらかにおける同月の収入の20%以上減収となった事業所が対象) ※ 1事業者あたり上限20万円×40事業者	600万円
● 感染症対応を行っている飲食店や宿泊事業者へ応援チケットを発行	2000万円
● 集会所、避難所での3密を回避し、感染予防に対応する整備 ※ 備蓄品収納庫 2棟（520万円）体温測定器 3台（78万円） 集会施設用体温測定器50台（492万円） (当初予算の振替 410万円)	1500万円
● 他 3 事業	182万円

前年度決算見込みに比べて7555万円の増。
令和3年度の町民1人当たりの地方債残高(見込み)は、
一般会計で約71万円、一般会計、特別会計等の合計で118
万3000円。

地方債（町債）現在高の状況

町債（借金）と基金（貯金）の推移

町債 (単位：百万円)

項目	H29	H30	H31	R2	R3予算
一般会計小計	7,140	6,949	7,241	7,697	7,772
特別会計小計	8,210	7,604	6,689	5,758	5,071
合計	15,350	14,553	13,930	13,455	12,843

基金

財政調整	1,706	1,415	924	1,080	559
減債	1,037	1,278	1,318	1,054	685
地域振興	969	925	890	829	727
その他	1,250	1,345	1,383	815	522
年度末残高	4,962	4,963	4,515	3,778	2,493
特別会計	508	528	515	525	510
合計	5,470	5,491	5,030	4,303	3,003

VOL62(前号)の2ページ下段、表中数値に誤りがありましたので、訂正しお詫びします



《令和3年6月4日 福祉文教常任委員会視察研修》
 ～飯綱町子育て世代支援施設 5月10日オープン～

木造2階建。子育て支援センター事業、ワークセンター事業、子育て世代包括支援センター事業の3つの機能を兼ねた長期的なワンストップ化を目指す複合施設。町外者も利用可。

1. 子育て支援センター (1階子ども達のエリア)

プレイルーム、託児室、ランチコーナー、相談室があり、就園前の親子の交流による情報交換の場。相談室では子育てコーディネーター（保育士）が業務を行う。利用料：無料

2. iワーク (2階ママたちの仕事のエリア)

ワークスペース、コミュニティスペース、多目的会議室。
 子育て世代の「はたらき」を応援する施設。家庭や地域の仕事、本格的な仕事を探すなどニーズに応じた働き方をキャリアカウンセラーが応援する。登録制。託児料：1日100円

3. 子育て世代包括支援センター

支援が必要な妊産婦や乳幼児を持つ保護者に対し、家庭環境を把握して関係機関と連携。母子保健コーディネーター（保健師）が個別の支援プランを作成。

***ファミリーサポートセンター事業**

子育てのお手伝いをお願いしたい会員と提供会員の相互援助活動を行う。



学
ぶ
議
会

令和3年度 6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水	風間	中島	目須	瀧野	原田	石川	荒川	伊藤	清水	樋口	渡邊	原田	青山	大川
		均	行	和	田	良	幸	信	詔	ま	満	功	千	重	弘	憲
予算	令和2年度飯綱町一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度飯綱町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	飯綱町総合計画条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	飯綱町特別職の職員で常勤の者の給料月額の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	接種後死亡15,000人超えニュルンベルク綱領違反新型コロナ人口削減ワクチン、ワクチンパスポート、プランデミック、ムーンショット計画に関してインターネット検索し、それらによる被害の防止策を実行するよう求める陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

賛
否
結
果

過疎対策、農業、図書館整備など質す^{ただ}

1 樋口 功議員

- 過疎新法(過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法)で、旧三水村地区が過疎地域に指定されたが、町の対応は

2 原田 幸長議員

- ヤングケアラー問題への認識は
- 踏み込んだ個別避難計画の作成を

3 目須田 修議員

- 農業と観光の町としての現状と今後は

4 渡邊 千賀雄議員

- 過疎法に基づく過疎地域の指定は
- 三水庁舎の統合に伴う今後の対応は
- 図書館の充実を

5 清水 均議員

- 人口知能(AI)の有効活用方法は
- 公共構造物の進捗状況と今後の維持管理は
- 新規路線の開設は
- 遊歩道、自転車道及びブレイブボード道の設置は
- 中学生議会の「グループ政策提言」の評価は

6 中島 和子議員

- 「男女共同参画社会」住民への周知と理解そして実現に向けさらなる取組を
- 公民館図書室の整備は

7 伊藤 まゆみ議員

- 高岡地区でのパワーリハビリの実施を
- 健診事業の受診率の向上を
- 飯綱東高原ゴルフ場の指定用途変更の地元及び利用者への丁寧な説明を

8 瀧野 良枝議員

- 町の有機農業への取組姿勢は
- 新庁舎での住民対応は十分か
- 職員のメンタルヘルス対策を

9 荒川 詔夫議員

- 町農業の今後のあり方は

一般質問

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



傍聴席



永野 光一さん
(上赤塩)

新庁舎での一般質問に初めて傍聴をさせていただけました。

は窓口業務サービスを一括にしたいとのこと。またデジタル化で申請できるようなになると

3月議会では、清水 満議員より、水道施設整備計画の質問があり、三水地区の浄水場の改修の件は、去年三水地区の区長会で視察をさせていたのだいて、老朽化対策を早くして欲しいと思いました。

浄水場の改修・庁舎統合に伴い町民対応を十分に

今年度の議員及び区長会より、要望書を提出したいと思えます。6月議会において、渡邊議員より三水庁舎の統合に伴い、一部の機能を残すことについての質問に、町

町長はじめ町職員、議会議員のみなさんにより町政がますます発展することを期待し感謝を申し上げます。

とについての質問に、町

過疎対策をどのように進めるか

町長 総合計画の実施状況を総括し、 町全体として事業を行う



樋口 功議員

一般質問

過疎新法の目的は

樋口 旧過疎法が期限を迎え、本年4月に過疎新法が施行されたがその目的は。企画課長 過疎地域が特別措置の活用を通じて人口減少の緩和や産業の育成を図ること自立し、最終的に非過疎地域を目指すこと。

旧三水村地区が過疎地域に指定された理由は

樋口 過疎新法で、旧三水村地区が新たに過疎地域に指定されたが、その理由は。企画課長 (表1に要約)

表1 旧三水村地区が過疎地域に指定された根拠

(過疎地域の指定要件 法第2・3条)
平成2年～平成27年の人口減少率が21%以上かつ平成29年度から令和元年度の財政力指数の平均が0.64以下
(旧三水村の場合)
人口減少率が23.6%、財政力指数0.28⇒過疎地域
※(旧牟礼村の場合)
人口減少率が5.5%、財政力指数0.28⇒非過疎地域

過疎対策をどのように進めるか

樋口 法律に、「過疎地域の持続的発展のための対策の目標」があるが、当町が平成29年から実施の「第2次飯綱町総合計画」に基づく施策と同じだ。今年度予定の前期5年の達成状況を確認した上で、過疎新法による施策を検討すると思うが。

町長 新たな過疎対策事業を導入するというより、町総合計画のこれまでの実施状況を総括した上で、今後、町のあるべき姿を検討し、推し進めることになる。

予算の確保は

樋口 旧三水村地区と旧牟礼村地区の現状をみると、過疎度に大差がない。両地域は飯綱町として同等に発展する必要がある。旧牟礼村地区における事業の予算も確保する必要があるが。町長 過疎新法適用での財源措置はありがたいが、町民にとって、対策事業の財源が過疎債、交付金、町税等の区分に意味はないと思

う。先頃、町の人口が1万3000人と発表された。これをどう維持していくかが町の課題だ。そのためには飯綱町を一つとして事業を行っていくことが大切だ。企画課長 過疎債はあくまでも財源の充当であり、サービスの提供やハード整備は、旧牟礼村地区、旧三水村地区とも大きく変わらな。旧三水村地区の事業に過疎債を充当できれば、町の財政にメリットが生まれ、結果的に旧牟礼村地区を含め、全町の地域を活性化させる施策が展開できる。

過疎からの脱却の本気度は

樋口 全国の旧過疎法による過疎地域は817で、ここからの卒業団体は45。率にすると5%。法の目的である過疎からの卒業は大変と推測される。地域住民との共働で持続可能な地域づくりという点を重視し、対策事業を進めなければならぬと考えるが。町長 これまでも水路、道路などの必要な事業に予算付けしてきたが、町全体の

表2 過疎対策に係る作業スケジュール

時期	作業内容
令3 4月～	・町総合計画策定アンケートの活用等による意見集約
～7月	・町計画案を策定 ・計画案のパブリックコメントを実施 ・県との協議
9月～	・町過疎対策計画案を議会に上程

人口減少は残念だ。町の財政力指数は0.28で、基準の0.64を上回ることは難しい。人口減少をいかに抑えるかが過疎脱却のキーワード。町の立地条件からも住宅施策を徹底したい。過疎新法適用のスケジュールは。樋口 住民に対する説明会、意見の集約の予定や計画の策定など、全体のスケジュールは。企画課長 (表2に要約)



原田 幸長議員

ヤングケアラーの 権利擁護は誰が 行政が最後はケアをしていくべき

ヤングケアラー 問題への認識は

原田 厚労省・文科省のプロジェクトチームでは、ヤングケアラーを早期に発見し、必要な支援につなげるため、探し出すことが大事としていますが、実態調査を行う予定があるか。

保健福祉課長 地域包括支援センターで、家族状況等の実態把握に努め、調査を進める。

教育次長 すでに小中学校では、児童生徒に対し様々な調査を行っている。ヤングケアラー問題に関する調査も盛り込んでいきたい。
原田 ヤングケアラー早期発見のためのアセスメントシート活用は予定はあるか。

教育次長 保育園の保育士、学校の教職員は、ヤングケアラーの存在を把握しやすい立場にあることから、アセスメントシートなどの活用により、早期発見、早期支援に努める。
原田 家庭に課題や困難を抱える児童生徒に対して、

福祉的な支援につなげるため、スクールソーシャルワーカーの配置計画は。
教育次長 令和元年度から町独自に配置をし、児童生徒の観察や相談、保護者、教職員からの相談に対応。2年度からは、保育園にも



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

▲ヤングケアラーはこんな子どもたち(一般社団法人日本ケアラー連盟より抜粋)

責務を背負っていると解釈している。担当する機関で対応して、今のところ専門職はいない。
教育長 教育委員会所属の保健師が一人おり、子育て支援センターにつめていて、保育園、小中学校の様々な相談事にも対応している。相談活動も場合によっては専門職。ヤングケアラー問題も注視していく。

原田 「ヤングケアラーの支援は何を目指すのか」について、子どもの権利擁護は誰ができるのか。
町長 こういう事態が生じてきているのは、核家族化が進み、母子・父子家庭の増加にある。行政が最後はしっかりケアしていくべき。

教育長 新しく子育て支援センターができて、ワンストップでできる。飯綱町だったら孤立することなく、安心して楽しく子育て

派遣をし、活動の範囲を広げている。
原田 「なぜ子どもがケアを担うことになるのか」について、相談に乗れる専門職はあるか。町の所見は。
町長 誰が支援するのかと言えば、国はもちろん市町村も地方公共団体として、

てができるというものを目指していきたい。
踏み込んだ個別避難計画の作成を

原田 改正災害基本法が施行され、個別避難計画の作成を市町村の努力義務とした。現状をより踏み込んだ個別避難計画の作成を行うか。

総務課長 飯綱町地域防災計画で、発災緊急時には要支援者本人の同意の有無に関わらず、関係支援団体へ情報提供を行う。今後の個別避難計画に当たり、要支援者についてさらに精査し、要支援者に合った個別計画を検討していく。



▲『飯綱町土砂災害ハザードマップ』の積極的な活用を

一般質問



目須田 修議員

農業振興と生産品販売・ 飲食店舗の運営は分離を

町長 十分に検討に値する提案だ

農業の町としての現状と今後を問う

一般質問

国などからの

補助事業は

目須田 ICT推進事業の現状と今後は。

産業観光課長 農場管理に有効なデータをタブレット端末等を介して効率的に収集する仕組みを構築し、そのデータ等を研究・分析することで優良農産物の生産に役立てる。経験に基づく農業だけでなくデータ活用により、新規就農者や経験の浅い農業者など誰でも気軽に生産性・効率性の高い農業経営を始められるユニバーサルな農業環境整備を目的に平成27年度の交付金を活用し、実証実験として参画農家を募り、現在町内の7ヶ所に気象観測センターを設置。

病害虫の自動予察の取り組みを展開中。諸々課題も多いが、今後はより環境整備に向けつつ、農家のニーズに沿ったICTの活用の仕組みを構築していきたい。

農地問題の対策は

目須田 耕作放棄地の現状と対策は。

産業観光課長 農業従事者の高齢化、後継者不足の問題もあり、その面積は今後も増加していくと考えられる。今後の取組みは、荒廃農地活用に対する交付金制度などを活用し、支援して増加防止に努めていく。

目須田 耕作放棄地への太陽光発電のソーラーパネル設置の問題点は。

産業観光課長 農地からの転用になるので、許可されないことには。

町長 設置するには、諸々関係する法律・条例をクリアしなければならぬようになってきている。

信州大学との

コラボ事業は

目須田 イチゴ研究の現状と今後は。

産業観光課長 共同研究事

業、四季成りイチゴは昨年度までの3年間で終了。今後は地域おこし協力隊や地元の営農組織が実験ハウスを活用し、継続して進めていく。

目須田 リンゴ研究と商品化の可能性は。

産業観光課長 果皮蜜々を利用した加工品開発の可能性があり、新しい加工施設での研究開発を続けていき、町の特産品として確立できるように進めていく予定で、引き続き信州大学の支援を受けていく。

町の産直販・飲食・ 加工施設の運営は

目須田 第3セクターのふるさと振興公社に委託しているが継続が可能、あるいは期待できる運営なのか。農業振興はわが町にとって重要な作業なので運営が赤字でもやむを得ない。一方販売は赤字でなければいけない。

生産品販売と農業振興を分離した方がいいのでは。

町長 農業振興部門での赤字を販売部門で埋めている

状態だが、独立採算でやって欲しい。町が80%も出資している会社がいままで継続しているのはいいのか悪いのか。商工会を通じて町内で商い・食堂をやってみてみたい人がいたら委ねてみるのもひとつの考え方ではないか。



▲わが町の基幹産業“農業”の柱は米とリンゴ

三水庁舎の移転に伴い 窓口を残すことは



渡邊 千賀雄議員

町長 新庁舎に集約したい

新庁舎が完成 行政サービスの向上を

渡邊 庁舎建設事業が順調に進んでいるが、役場第2庁舎の完成に伴い、三水庁舎の行政機能が新庁舎、1ヶ所に集約され、行政サービスの向上が見込まれる。しかし一部機能を残すことも住民サービスに繋がりに、それを望む要望、声が住民の中にある。そこで、一部機能・窓口を残すことは考えられないか。位置、場所としては現在のりんごパ



▲新庁舎に集約される三水庁舎

クセンター、またはコネクティブースト内などが考えられるが、検討する考えは。
町長 希望は聞いているが、1ヶ所に集約したい。イースト（旧三水第二小）、ウエスト（旧牟礼西小）を利用して活性化のため、人の配置が必要となれば考えた

三水地区が過疎地域の 指定となったが対応は

渡邊 令和3年4月1日、第5次過疎法により三水地区が該当した。今後は、町の持続的発展に向け、どのように対策を講じるか。
町長 新たに事業をやるというよりは、すでに町総合計画等で着手している施策の財源が交付金等で取り組みやすくなる。人口増対策、住宅建設、地域の活性化への人材育成等に取り組む。三水地区の4ブロックが

核となる取り組みをしたい。

企画課長 具体

的施策の計画を9月までに県と協議しながらつくり、総合計画と整合性を図りながら取り組む。

渡邊 住民との

共動により、飯綱町ならではの施策を展開し、人口増や地域づくりを図れ。住みやすく、通いやすい町づくりを進めることも重要と思うが。

町長 同感だ。心豊かに、住みやすい町として成長、存在し続ける町でありたい。

図書館の充実を

渡邊 図書館は、交流憩いの場、情報発信、子育て、学びの場として、生涯学習、社会教育施設として活力と潤いのある町づくりのためにも有効だ。現在町には、町民会館図書室、一般開放の飯中図書館、りんごパ



▲子育て、学びの場「山本太郎文庫」(りんごパークセンター内)

クセンター太郎文庫がある。現町民会館図書室はスペースも構造も間借りので、最良の場、環境とは言えない。以前の質問で提起した際、教育長は図書室を広く使いやすいものにする計画としていたがその進捗状況は。
教育次長 小学校跡地、新設、三水庁舎スペース後など様々な検討を重ねている。
教育長 電子図書普及、タブレットで広域連携での、本の借りるシステムづくりも検討したい。



清水 均議員

「AIスピーカー」を使った 体調管理は

町長 今は導入予定なし 今後検討

人口知能の 有効活用方法は

清水 一人暮らしの高齢者が孤立しない環境づくりのため、タブレットの貸付等により、人と会話できるAIスピーカーを使った体調管理や安全確認を行う考えは。

町長 AIの利便さは知っているが、今は導入する予定はなし。大鹿村の実態についてはこれからも注視していく。

清水 別荘地の空き家を活用しリゾートテレワーク施設等の導入は。

町長 県が行う信州リゾートテレワークモデル地域に県内12の市町村が加盟しており、その一つに指名されている。それを利用しながら都会の人、若い人達に魅力的な仕事場の一つとして考えたい。

公共建造物の 維持管理費は

企画課長 (表で要約)

一般質問

公共建造物の進捗状況と今後の維持管理について 単位千円

施設名	事業費	補助額計	一般財源	単年度収入	単年度支出	年間維持管理費
いいづなコネク	473,357	194,944	278,413	7,040	23,620	30,660
メーラプラザ	381,482	101,723	279,759	2,070	8,420	10,490
三本松直売所	226,631	51,250	175,381	0	5,717	5,717
イチゴハウス	18,358	5,428	12,930	0	549	549
計	848,882	437,579	411,304	9,110	39,756	45,326

テナント賃料など収入が増加すれば支出額が減少します。
年間維持管理費も支出額が減少すれば減少します。
令和3年3月31日現在

新規路線の開設は

清水 県道60号線(長野―荒瀬原)の飯綱病院から牟礼小学校の西側を通り小玉集落の国道18号線に合流する計画案を関係各所に提案する考えは。

建設水道課長 小学校の西側を通るルートは、八蛇川、滝沢川の一級河川、小学校の通学路、鉄道とあり地形的に沢を越えて行くため、高架橋・用地買収など経費

もかなり安価ではない。
現道は多くの改良希望があり、要望したい。

来年度にかけて踏切から栄町の交差点まで用地買収等内容を検討して進めていきたい。

全線開通についての話はない。
清水 福井団地から番匠を通り長野市豊野町に抜ける町道の計画は。

町長 そのような道路があれば便利であるが、番匠の急な坂、沢を越えるなどすぐにはいかない。バイパスを利用してほしい。

遊歩道等の設置を

清水 福井神社と福井団地の間は、緩傾斜地で杉林や広葉樹が多く森林浴も楽しめる。健康寿命延伸と子どもたちの健康と成長を図るため、遊歩道、自転車道及びブレイブボード道設置は。
町長 公園的な候補地として検討していきたい。



▲福井神社境内で遊ぶ子どもたち

中学生議会の政策提言の評価検討結果は

町長 主に「移動図書館」は、検討していない。

・「休耕地を県外者の体験の場」は、農園付分譲を魅力の一つとして始めており、20万円の支援制度を新しく発足していききたいと取り組んでいる。
・「駅前を魅力ある通りにする」は、2、3軒お店をやりたいという方が出てきており、ボランティアで公園、花壇を作り美化運動が始まっている。

男女共同参画

実現に向け更なる取組を

町長 地域づくりに必要

幸せを感じる町を目指す



中島 和子議員

参画社会へ 計画の周知を

中島 第5次男女共同参画基本計画の策定に伴い、町も第2次飯綱町男女共同参画計画(女性活躍推進計画)を策定した。1次計画からの課題として「理解の深まりに対して実感が得られなかった現状」をどう捉えるか。

教育次長 住民意識調査の結果分析では、長い時間を掛けて形成された性別固定の役割分担意識が解消されていないと思われる。より効果的な啓発事業を継続させて推進したい。

中島 具体的な施策と内容が示された計画ができ上がった。町民への意識啓発推進の仕方は工夫する必要がある。改革を目指し幅広く周知していくための方策は、**教育次長** ホームページで、第2次計画と住民意識調査結果を公表している。今年度、計画書を製本して関係機関に配布し、概要版を全戸配布する。推進委員会で計画の進捗状況の管理、推進のための施策の調査研究

を行っていく。



▲男性の参加が求められる男女共同参画推進委員会

教育長 意識改革には時間がかかるが、やり続けることが大事。地道に根気良く継続していく。

条例制定を

中島 計画策定に伴い、地域の特性を勘案した基盤となる条例制定の考えは、**町長** これからの社会、男女共同参画は地域づくりに必要。しかし義務を果たしていただくことを制定する条例は慎重に対応したい。

地域活動に 女性活躍の場を

中島 人口減少時代には女性の進出が求められる。しかし女性自身が消極的であることも踏まえ、地域活動に女性が参画しやすいように行政からの支援体制を。**副町長** 地域活動には女性の幅広く柔軟な考え方が重要なポイントと認識している。町では、区長、組長会や地域の懇談会などで時間をかけて浸透させていく。

参画社会推進へ 取組の強化を

中島 推進週間を定めることなど、各イベントでの啓発活動を。**教育長** 住民目線での取組の場は大切。今後推進委員会で検討していく。

2つのテーマの 相乗効果を

中島 「男女共同参画推進の飯綱町」へ、町の取組をアピールすることが「日本一女性が住みたくなる町」に反映すると考えるが。**町長** 女性を含め全ての人

が幸せを感じる地域づくりで、町が動き出すことを目指していく。

多様化時代の 図書館整備を

中島 公共図書館は多様化の時代を迎えた。今後の町民会館の使用状況が変わってくる中、図書室の閲覧室の整備とブックカフェのような本を手につくりこりヒーが飲める空間の確保を。**教育長** 町民会館の役割の中で公民館図書室をしっかりと位置づけて、町民が使いやすい工夫の時間を過ごせるものを目指したい。



▶期待される図書館整備



伊藤 まゆみ議員

高岡地区でパワリハの実施を

町長 9月議会に予算工面したい

伊藤 パワーリハビリテーションシヨンは、健康寿命の延伸に大きな効果を上げている。旧牟礼西小の後利用の説明会の席上で、パワリハの設置を求める声があった。町長は、9月を目前に何とかするよう指示したと聞くが、進捗は。

町長 福井団地、メーラプラザ、旧三水第二小とも盛況だ。9月議会に、予算を工面して進めたい。

伊藤 介護予防の効果と地域の活性化、地域力の向上にも寄与する。インストラクターの継続的な養成とスキルアップを。

保健福祉課長 社協に委託して実施。研修の後フォローアップ講座を2回実施。これからも続けたい。

伊藤 認知症への認識を深めることも重要だ。インストラクターに、オレンジパートナー養成講座の受講を促しては。

町長 認知症への関心は高いので、機会を見つけてお願いしていきたい。



▲健康寿命延伸へ地域で支える介護予防(メーラプラザ)

健診の受診率向上を

伊藤 コロナ禍で各種健診の受診率が低下している。特定健診は、飯綱病院で行う予定ができなくなった。来年度はどうするのか。

保健福祉課長 今年度は、集団健診を北信病院にお願いしている。来年度以降は、飯綱病院と協議する。**伊藤** 女性特有のがん検診は、平時でも低い。対応は。

町長 ワンコインがん検診、休日健診のPRに努め、早

期発見に繋がった。

伊藤 積極的に脳ドック受診の啓発を。

保健福祉課長

総合検診のオプションにもある。啓発に努めたい。

東高原ゴルフ場指定用途変更は丁寧な説明を

伊藤 上村区以外の地元と関係者への説明会が開かれていない。6月広報には、7月25日と広告が出ています。町は聞いているか。

建設水道課長 6月27日に計画していると聞いています。

伊藤 水関係の計画書が提出されていないと聞かれました。

建設水道課長 トイレは汲み取りで、食事はレストハウスで提供する。現状と変わらないため、計画書の提出はいらぬ。

伊藤 新しい信頼関係の構



▲新型コロナウイルス感染症対策を講じての特定健診(町民会館)

築へ大事な工程をきちんと行い、地元や関係者と力を合わせて飯綱東高原の発展に取組めるよう、町はどう対応していくのか。

町長 長い付き合いをしていく会社であり、地域の一員として一帯の発展に寄与してもらいたい。町は、指導など仲介していきたい。

有機給食への考えは

町長 町の子どもは 有機の野菜や米で育てたい



瀧野 良枝議員

有機農業推進へ 担い手支援は

瀧野 町の取組姿勢は。

町長 持続可能な農業を意識し進める。町の大きな特徴となる。ビニールハウス補助もオーガニックが狙い。

瀧野 有機JAS認証への農家支援は。

産業観光課長 今後検討。

瀧野 耕作放棄地の有機農業への活用は。

町長 JAS認証条件を満たす一つの候補地。

瀧野 参加型認証など町独自の認証制度の確立は。

産業観光課長 先進事例を参考に研究する。

瀧野 市民農園による新規参入者の取り込みは。

産業観光課長 市民農園開設や民間事業者によるプロジェクトが進行中。支援策を検討。

有機農産物の 安定供給は

瀧野 公共調達として給食への活用は。

産業観光課長 「オーガニック給食の町づくり」を

考えている。JAS認証を取得し町内で有機栽培を行っている「くらじか自然豊農(株)」から学校給食へ昨年度より試験的に供給開始。保育園では今年度から一部導入予定。本格的導入に向けた体制づくりを進める。

瀧野 給食への地元産有機米導入の千葉県いすみ市は住みたい田舎ランキング5年連続1位。移住促進に繋がるのでは。

町長 「町の子どもは保育園から学校まで有機の野菜や米で育っている」というのが目指す方向。

瀧野 直売所での特設コーナー設置は。

産業観光課長 生産者への動機づけや、直売所の誘客の面からも積極的にPRする。

瀧野 加工所活用での乾燥野菜は。

産業観光課長 可能性のある取組。先進事例を参考に検討。

瀧野 給食野菜くず、食べ残り残渣の肥料化など、食の循環利用は。

産業観光課長 循環型の仕組みを町でも確立したい。

住民対応は 十分か

瀧野 総合案内の充実は。

総務課長 総合案内へは日に10〜20名程度。今の段階



▲今後 第二庁舎稼働により来庁者増が見込まれる

では会計係職員2名で兼務できる範囲。

瀧野 人事異動の引継ぎ不足によるクレームに対し、担当職員以外のフォロー体制は十分か。

副町長 日頃から職員間のコミュニケーションを密にしている。

コロナ禍での メンタルヘルス対策は

瀧野 病休者の現状は。

総務課長 令和2年度、役場で療養休暇と休職が6名。病院では休職中が3名。

瀧野 対応策は。

副町長 ヘルスチェックで高ストレスと診断された15名に専門家の面談の希望の有無を確認。心の健康づくり相談室の利用実績は2名。



▲遊休農地活用へ(芋川離山地籍) 有機JAS認証取得のくらじか自然豊農(株)の農園



荒川 詔夫議員

町農業の今後のあり方は

町長 基本的には同じ思いである

日本一のリンゴの町づくりの現状と成果及び今後の重点施策は

荒川 町りんごの生産量は低下している。産地形成上重要な要素のため具体策は、

町長 後継者不足、就農人口減少、耕作面積減少の要因による。産地維持上これらの対策が必要である。

荒川 ブランド化は、産地が明確なイメージと特徴を持ち、消費者から共有してもらい必要がある。栽培方法を含めて、個性が求められるが思いは。

町長 高品質維持には、現状栽培方法のあり方でも良いと思う。

荒川 日本一のリンゴの町を目指す策に、生産者から実感がないという声があるが。

町長 厳しいご意見である。諸策を進めているが、改めて何が不足しているか考え直したい。

荒川 10年後も果樹産地化を目指す策では、受益者負担ゼロで園地を整備する農地整備事業導入を先の3月議会で賛意を示された。今

一般質問

後のスケジュールと決意は。
町長 まだアクションを起こしていないが、話し合いの場を持ち話題にしていきたい。ただし、導入への気持ちは強いものがある。

農業の維持存続と農地荒廃化防止を

■飯綱町年齢別基幹的農業従事者数

計	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1,430人	2人	1人	6人	17人	17人
40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
15人	24人	39人	73人	191人	273人
70～74人	75～79歳	80～84歳	85歳以上		
271人	239人	171人	91人		

自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事为主の世帯員数
資料：2015年世界農林業センサス調査結果

荒川 基幹的農業従事者の高齢化等により、離農や規模縮小等が進んでいる。新規就農者の見通しは。

町長 毎年1、2名の確保を目指したい。地元の高校生の就農等を校長先生と話をしている。併せて、多様な就業者（半農半X等）の確保を進めたい。

荒川 ※「人・農地プラン」の実質化が果たされていないが対応策は。

町長 確かに実行感がないと思う。担い手として、農業団体・法人組織を視野に入れ、実質化へ努力したい。

※「人・農地プラン」
農地の集積・集約化に向けて地域で話し合い、担い手や、担い手に貸し付ける農地を明確にする取り組みを指す。

荒川 条件不利農地解消に当たり、除外基準を策定のうえ目標地図化して、地権者の同意を得ては。また、跡地利用へは、放牧的な粗放農地利用や荒れる前に林

地等への是非を含めての考えは。
町長 目的もなく外すことはどうかと思うが、言われる意味はよく理解できる。
荒川 当面の就農者確保策として、特化した「地域おこし協力隊」を核として多様な担い手を確保のうえ、技術の伝承は担い手農家へ委ねてはどうか。
町長 1名は採用済みで、もう1名は募集中である。地元だけでなく、首都圏へも門戸を開かないと確保は難しい。専門農家等の力を借りたい。



▲成長したりんご新しい化園地での草刈り作業

新しい町づくりへ 私の提案

第23回

りんごの町として



植田 麻緒さん
(地域おこし協力隊)

1年前から、いっぴな「コネクT E A S」でカフェを運営しています。

りんごをひとつのテーマとして活動していくなかで、飯綱産りんごの美味しさや品種の多さなど、まだまだ認知されていないことがたくさんあるんだと実感しました。町内で生産しているりんごの品種数は日本一の豊富さなので、りんごのおもしろさを日本だけにとどまらず世界中にアピールできれば、町もさらに活気づいて面白くなりそうだなと思います。また、「みつどん」の大きな像などもあれば観光にもつながるので、ぜひ作っていただきたいです。

飯綱りんごが大好きで、りんごの町いっぴなに住んでいることを町民みんなが誇れる、そんなまちづくりを私も一緒にしていきたいと思っています。

備えあれば…



和田 啓さん
(平出)

今年は何年にも比べ遅い梅雨入りとなり、いよいよ雨の多い季節に入りました。ここ数年で感じることは、梅雨時期に線状降水帯と呼ばれる現象で、大雨の被害がニュースで聞かれるようになったことです。また、一昨年には台風19号による水害が、生活圏である長野市で発生し、災害の怖さを身近に感じました。水害だけでなく地震もまた、身近に起こる自然災害の一つです。以前寒い時期に地震が起こり、オール電化だった我が家は非常に困った覚えがあります。喉元過ぎればなんとやら…にならないよう、今できる準備を、平時の時に考えて備えることが大事なんだと感じました。

思うこと



町の保健室 いっぴな

3年前から、相談を中心にボランティア活動をしています。人と関わることや居場所があることは年齢・性別に関係なく大切なことと強く感じています。町内ではみんなが気軽に集える場所も増えました。学校に関してみると、多様性を尊重した学びの場所が増えていきます。町の大きなスローガン「女性が住みたくなる町」として取り組んでいただいていること、うれしい限りです。そんな中、少しの改善でより良くなるのではと思うこともあります。例えば女性検診を『年度指定なく』かかりつけの医療機関で受けることが出来ればフォローアップがしやすくなるでしょう。

今後も子育てや家事労働も含め、シエnder平等の視点を大切に町民全体で作りに上げていけたら素敵だなあと考えています。

あの時の あの質問 どうなった??

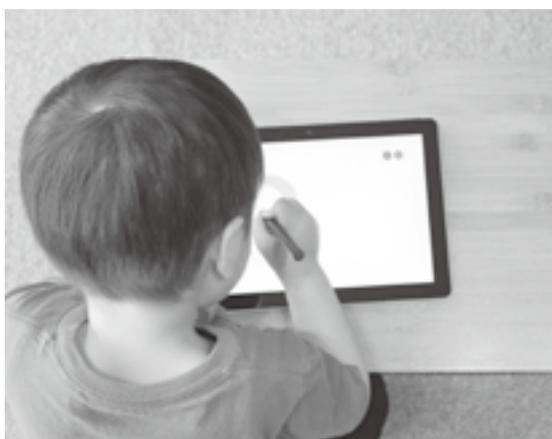
【令和2年9月 一般質問】

Q 移住促進施策の改善を。

A 移住関連補助金制度の改善を検討する。



対応 令和3年度より中古住宅購入補助及びリフォーム補助
上限を50万円に引き上げ、対象者の年齢要件を撤廃。
家財道具処分補助上限を20万円に引き上げ。



【令和2年9月 一般質問】

Q オンライン学習のためのルーターの貸出を。

A 令和2年度はリースにより2か月分、50台の各3校
分を予算化。3年度は状況を見て検討する。

対応 小学校30台×2か月×2校分、中学校40台×2か月分
を予算化。

【令和2年9月 一般質問】

Q ひとり暮らしの高齢者世帯へのエアコン購入補助を。

A 制度整備を検討する。

対応 要綱を制定し、令和3年度よりエアコン購入補助を実施。

【補助対象者】

- ・75歳以上のひとり暮らし高齢者、又は75歳以上の高齢者のみの世帯
- ・町民税非課税の世帯
- ・世帯員全員が町税を滞納していない世帯

【補助率】

- ・対象経費の2分の1で3万円を限度



あの質問
どうなった

【令和2年9月 一般質問】

Q 異常気象に伴う町内の災害対策は。

A ハザードマップ浸水地区等、実情に見合った有効な対策の早期実現を県等に要望していく。



対応 烏居川だけでなく、斑尾川、八蛇川も含め防災対策として浚渫しゅんせつや護岸整備の要望を県等に出していく。



【令和2年12月 一般質問】

Q iバスの更なる拡充を。

A iバスヘルパーの乗車日の増を検討する。



対応 令和3年度からヘルパー乗車日を週1日から週2日に拡大。

あの質問どしなった

【令和3年3月 一般質問】

Q 半農半Xによる農業人口の増加策を。

A 小規模農家の育成が一つの流れと捉えている。市民農園法、農地法等に則った農地の確保等の研究を進める。



対応 小規模ハウスの設置補助、野菜栽培の基礎講座の開催を実施。市民農園法活用による農園の開設に向け、支援をしていく。



議会だより第62号(3月定例会)

モニターアンケートにお答えします

コロナワクチン接種スケジュールは

Q 新型コロナワクチン接種の進捗状況とスケジュール等の情報が欲しい。

A ・進捗状況—65歳以上の高齢者は、7月末までに2回接種完了予定。
 ・スケジュール—高齢者の次に基礎疾患を有する方を対象に、6月末の全戸配布により申し込みをしていただき、8月上旬に日時を指定して接種予定。

60歳～64歳の方へは、7月下旬接種券を送付し、8月上旬に予約。8月中旬接種予定。以後40歳～59歳、12歳～39歳の方へ接種券を送付予定。



新型コロナワクチン接種券発送時に提案

Q ワクチン接種は地域ごとに時間・日付を組み、日程表を配付し、日程が合わない方のみコールセンターで予約の変更をしてはどうか。

A 各自治体でも行っており、参考にしながら検討してまいります。

転出者対策も大事

Q 移住者への援助についてはわかりました。転入と同時に転出への対策も大事かと思う。長野への若い方の転出が多いと聞く。なぜ、長野市へ移るのか…なぜ、町に残らないのか？情報が欲しい。

A 長野県毎月人口異動調査によると、令和2年度における町への転入者は224人、転出者は290人で66人の転出超過になっています。また、転出者は290人のうち、長野市への転出者は117人で全体の約6割が同市へ転出していますが、88人が長野市から飯綱町へ転入しています。

現在、町では地方移住への流れが加速する中で移住者取り込みのための各種施策を実施しているところですが、ご指摘のとおり、転出抑制のための施策展開も重要と考えています。

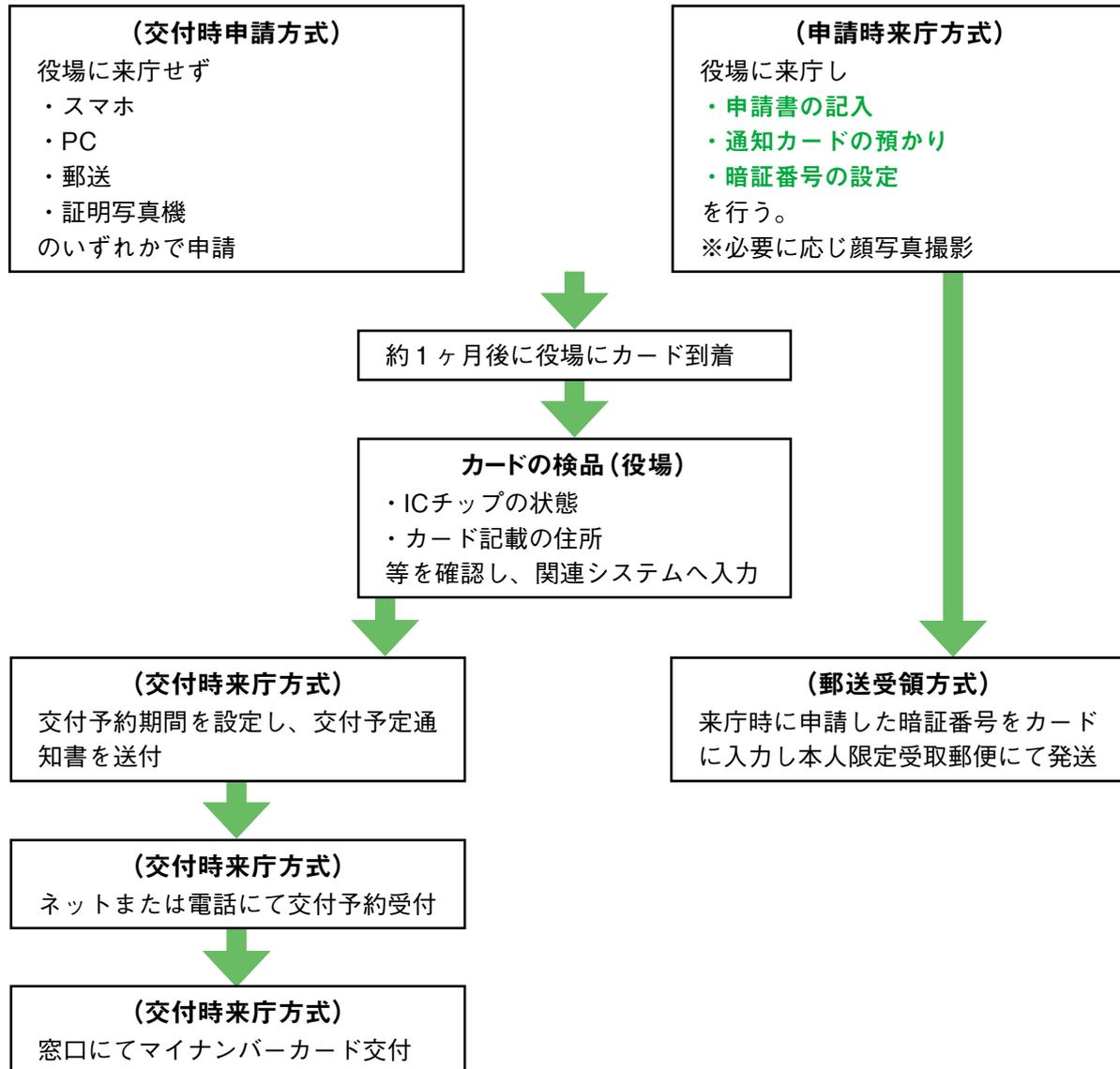
転出の理由には、進学や就職、結婚など、個々の様々な事情があると思います。より利便性の高い地域を求めての転出、住宅へのニーズが多様化する中で豊富な賃貸住宅を備える地域への転出など推測することはできますが、現在、町ではその要因を把握できないため、今後、転出者へのアンケート等により要因を把握するとともに、転出抑制のためにどのような施策が必要なのかを検討してまいります。

マイナンバーカード取得方法は

Q マイナンバーカード取得について、先頃封書で取得の依頼が届きましたが、どのような書類、予約等が必要なのか、自分の手元にカードが届くまでの流れを教えてください。

A

マイナンバーカード交付フロー



モニターアンケート

【マイナンバーでできること】

- ◎マイナンバーを証明する書類になる
…マイナンバーの提示と本人確認が同時に必要な場面では、これ1枚で済む唯一のカードです。
- ◎健康保険証として使える
…2021年10月（予定）から健康保険証として利用できるようになります。
- ◎民間のオンラインサービスで使える
…インターネットバンキングなど民間企業での利用が広がっています。

わかりやすいを心がけ 議会だより編集会議

定例会年4回ごとに議会だよりを発行しています。また、中学生議会があった時には特別に編集しています。それぞれ5回程度の編集会議で、町民の皆さんへの原稿依頼から始まり、記事の作成、資料・写真の手配等、全て6人の編集委員で行っています。記事ごとに担当者を決め、最後は全員で読み合わせを行い、間違いはないか確認作業をしています。

▶コロナ禍で研修会が中止され月刊「地方議会人」の市町村議会広報クリニックを受けた。



63号表紙説明

ワクチン接種後ひと安心。同時に副反応に備え、15分から30分待機する高齢者。河野太郎行革相は「コロナとワクチン接種とのスピード競争だ」と語る。



議会だよりモニター

生の声 24

町民福祉の

向上に期待



沖 弘宣さん (倉井)

この4月からの65歳以上の介護保険料が据え置きとなりました。新聞等によると、県内の保険料の平均は5623円。飯綱町は4850円で下から4番目の金

額です。

負担が少ないということ、私たちには十分にメリットですが、裏を返すとそれだけ保険を使っていないともいえます。施設サービスより在宅サービスの利用者の割合が他町村も多い？ 予防サービスが充実している？ 十分なサービスが提供できていない？ などいろいろなこと考えられますので、ぜひ検証していただきたいです。

議会の皆様には、暮らしやすさを実感できる「まちづくり」に向けてさらなる活躍を期待申し上げます。

9月定例会予定

9月1日～9月24日 (24日間)
一般質問
9月6日 (月)・9月7日 (火)
常任委員会
9月8日 (水)・9月9日 (木)

編集後記

議会だよりを「市町村議会広報クリニック」に応募し、「住民との双方向性が前進」との批評がありました。好企画として「モニターアンケートに答えます」「私の提案「傍聴席」生の声」あの質問どうなった」などが評価されました。読みたい紙面づくりに取り組めます。(千)

編集委員

憲明	大川	人長	行員	発委
信雄	石川	委員長	副委員	副委員
幸長	原田	員	員	員
和子	中島	員	員	員
枝良	瀧野	員	員	員
まゆみ	伊藤	員	員	員
千賀雄	渡邊	員	員	員